

初めましての方、初めまして。お久しぶりの方、お久しぶりです！

さて、今回はフリーペーパーを発行するに当たって何か書こうと思ひまして。何か書いてます。

ヘッドフォンアンプのキットを頒布したのでボリュームについて書いていこうと思ひます。
・・・時間と紙の制約上1種類しか紹介できませんが、気が向いたら何か出そうと思ひます。

デテント・ボリュームについて書いていこうと思ひます。
え？知ってる・・・まあそういうこと言わないでww

デテント・ボリュームは各社から出ていますが一番有名なのはALPS社のRK27112という青色の四角いやつだと思ひます・・・確認はない
秋葉原の部品屋さんだと若松通商、三栄電波、山王電子、等で売っています。価格は980円～2千円程度で売っています。価格の面ではOEM品がコストパフォーマンスでは優秀です。正規品は様々なバリエーションがあり新しいロットを入手することが可能で納期体制も確りしています。

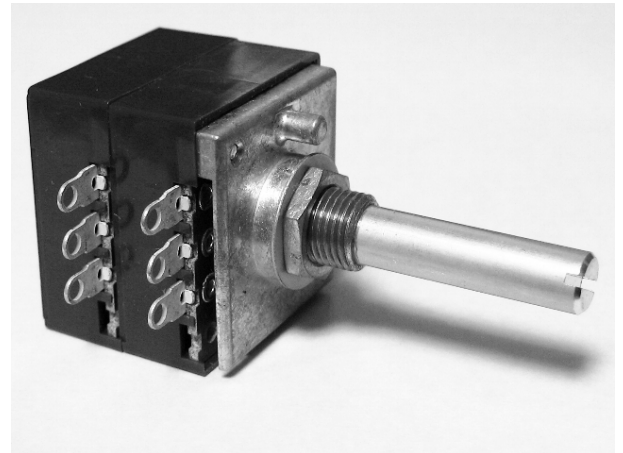


写真1 ALPS RK27112

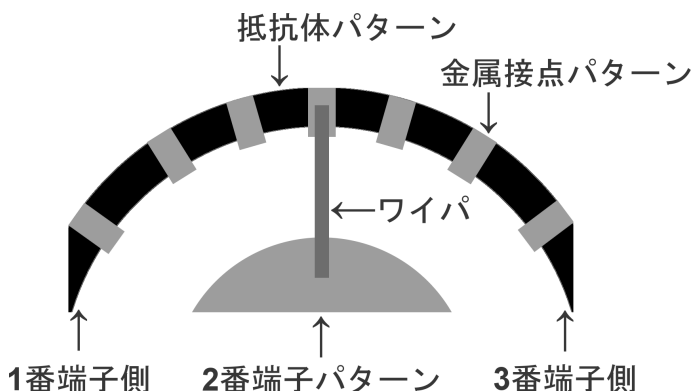


図1 デテント・ボリューム内部構造(概略)

デテント・ボリュームとは何か？

内部構造の概略を図1に示します。
通常よく使われるような炭素系のボリュームと最も異なる点は抵抗体に直接ワイパーが摺動しないことにあります。これは、抵抗体とワイパーの摺動時に発生するノイズを低減することが出来、耐久性も高くなります。抵抗体パターンの材料や加工方法によって高精度、優れた温度特性、相対的誤差率の軽減など様々なメリットを得ることが出来ます。

☆長所

- 高耐久性
- 相対的誤差率が低い(ギャングエラーが起こり難い)
- 優れた温度特性
- ・・・こ、このクリック感が高級感をかもしだしている！

★短所

- 炭素系に比べて入手性が悪い
- 値段が高い
- 分解能が有限である
- 外形が比較的大きい
- ・・・大きさに魅力が。

最後に

色々書きたかったんですが、現在8月16日午前1時半すぎ！さすがにもう時間が無いので中途半端ですがこの辺で。告知的なものになるんですが、冬コミに受ければ小さなポータブルヘッドフォンアンプのキットを出そうと考えています。書きたいことがありすぎて書ききれなくなるので・・・
それでは次回あえましたら！

2009年8月16日 黒羽音響技研 黒羽トア